

# 第13回 都城制研究集会

開催日 2019年3月16日(土)

開催場所 奈良女子大学文学系N棟 202 講義室

- 10:30 開 会
- 10:40~11:20 外交の場としての日本古代の都城  
—問題提起として— 舘野 和己氏 (奈良女子大学)
- 11:20~12:00 中国古代都城の設計とそこに現れた天下観  
佐川 英治氏 (東京大学)
- 13:00~13:55 新羅の天下観と四方祭祀  
尹 善泰氏 (東国大学校)
- 14:00~14:40 ベトナムの都城京と東アジア  
ファム・レ・ファイ氏 (ベトナム国家大学ハノイ校)
- 14:40~15:20 日本古代の天下観  
河上 麻由子氏 (奈良女子大学)
- 15:40~17:00 総合討論

古代においては、その時々の政治的課題を解決するため、近隣諸国に使者を派遣することがあった。派遣された使者は、派遣国の王の意図を伝え、また数々の儀式に参加した。使者の謁見と儀式は、天下の中心であり、王の居住地である都で行われた。本シンポジウムでは、外交の場となった都城を「天下」というキーワードから考えてみたい。

受付は、10:00 よりおこないます。

事前申込み、参加費等は不要です。

主催 奈良女子大学 大和・紀伊半島学研究所 古代学・聖地学研究センター

共催 科学研究費基盤C「日本古代の天下について」(課題番号 16K03014 研究代表者 河上麻由子)

〒630-8506 奈良市北魚屋東町 奈良女子大学コラボレーションセンター205

Phone&FAX 0742-20-3779 E-mail kodaigaku@cc.nara-wu.ac.jp

国際シンポジウム

天下の中心としての都城

—対外交渉の視点から—